

HTEC

TIMES

Honda Technical College kansai

学校法人ホンダ学園 ホンダ テクニカル カレッジ 関西

〒589-0012 大阪府大阪狭山市東くみの木2丁目1937番地の1
TEL:072-366-9011 FAX:072-360-2230

発行責任者
校長 滝澤 信彦

ホームページ・ケータイ サイト
http://www.hondacollege.ac.jp/honda_w/

QRコード対応
ケータイで
簡単アクセス!



EVENT

全科新1年生全寮合宿



<寮合宿レクリエーション>スポーツ大会開催 大縄跳び



<寮合宿レクリエーション>新しい仲間とクラス団結できた早番替え競争



オフロードバイク体験走行(モビリティ体験授業にて)



鈴鹿2&4レース観戦の様子

今年度より新たな取り組みとして全科新1年生全寮合宿を行いました。1年生全員が同じ宿舎(寮)にて生活を共にし、寮規則に則り団体生活を送ることで、モラル・マナー・マインドを築いていく実践教育の場となります。寮に於ける団体生活は、コミュニケーション醸成に役立つだけでなく、今後一生の友となる友人を作る大切な場になることは間違いありません。自分のライフスタイルを見つける場

でもあり、高校時代までは通用してきた行動も今後就職し社会生活を送る上では通用しないことも多くあります。寮生活を通じてモラル・マナー・マインドを醸成していくよききっかけになったと思います。1ヶ月間という長いようで短い期間でしたが、自分を見つめなおし、自己を理解し、他者を理解し相互に強調しあい、より成長できる場になりました。

この合宿での目標となる キーワード

1. 規則正しい生活
2. コミュニケーション
3. モラル・マナー・マインド

●自動車整備科 ●一級自動車整備研究科 ●自動車研究開発科

Hondaトクトークで峯川常務執行役員が来校

2月16日、本田技研工業株式会社より常務執行役員 日本営業本部長 峯川さんをお招きし、今年度トクトークセミナーを開催いたしました。自動車需要の低迷が続く中、国内では約7割が軽自動車などのSモーターという現状において、メーカー間の競争が激しさを増しています。お客様の期待に応えるべくそれに向けた様々な施策を展開するHondaの現状についてお話していただきました。軽自動車で遅れを取っていたHondaは、2011年末に「NB OX」を発表しました。独自技術を搭載した新型軽自動車は、これまでに管理内化の強化を促進し、二層強くなった販売網に投入されています。



写真は峯川常務執行役員



貴重な講話を熱心に聞く学生達

「これからのHondaにとって重要なのはサービスの役割」と峯川さんはこのようにおっしゃっていました。近年は自動車保有年数が伸びており、自動車を購入されたお客様とは車検などの限られた機会しかお会いできなくなっ



テーマは「自動車ビジネスの市場環境とHondaの国内営業戦略」

滝澤校長による入学式式辞「建学の精神」、「育成方針」目標を持ってチャレンジする事の大切さを語る



祝入学 「平成24年度入学式」

入学式式辞
校長 滝澤 信彦
当学園は、皆さんも存じのように本田技研工業の創設者である本田宗一郎が、本場に優れた自動車整備はどうあるべきかという確固たる信念を持ち、その信念と理想を実現すべくこの学校を設立しました。その建学の志は「ホンダ学園は世界に歓迎される人間の育成を使命とする」です。これを基に、社会に歓迎される為に「マナーとマインドを磨く」「実践第一の技術力を学びとる」「社会貢献の心と行動力を育む」という3つの育成方針を定め、皆さんがこの学園で学んで頂きます。

皆さんは、好きでこの世界に飛び込んで来たはずで「整備士になりたい」「自動車設計したい」「本田技研工業に入りたい」等いろいろな夢を持つてこの場にいられていると思います。もしかしたら、まだ持っていない人もいるかもしれませんが。まずは、夏休みまでにこうなりたい、こうしたいという目標を決めてください。目標を持つて自分が何をしたいかをハッキリさせることによつて、学校も、勉強も面白くなってくるからです。また学園では様々な事にチャレンジして頂きたいと思つています。失敗こそが成長の肥やしと言います。今までやったことがない事でも、

4月4日(水)、大阪狭山市SAYAKAホールにて、ホンダテクニカルカレッジ関西の入学式を執り行いました。今年度の新入生は236名(自動車整備科179名、一級自動車整備研究科36名、自動車研究開発科21名)で、エンジニアに意欲を燃やす若者たちが各地から集まりました。新入生のみならずには何事にも積極的にチャレンジして、新しく始まる学園生活を乗り切るものにして欲しいと思います。



誓いの言葉 (新入生代表 一級自動車整備研究科 南部 兼志 君)

どんどんチャレンジしてください。私たちは「自ら学び取る」「チャレンジする」この2つをベースに、学園で自ら行動する事を求めています。思い切り学園生活をエンジョイし、振り返った時に達成感を味わうことが出来れば、これに勝る喜びはないと思います。(要約)



自動車整備科	179名
一級自動車整備研究科	36名
自動車研究開発科	21名
総数	236名



エンジニアに意欲を燃やす236名の新入生たち